



クイズで学ぶ 小倉

百人一首

かるた

～上の句編～

からくれなるに
水くくるとは

ちはやぶる
神代も聞かず
竜田川

だがしのん 著

クイズで学ぶ
小倉百人一首
かるた
～ 上の句編 ～



だがしのん著

書籍案内

『クイズで学ぶ小倉百人一首かるた ～上の句編～』は、百人一首の上の句から下の句を当てるクイズの本であり、和歌を記憶するための訓練本でもあります。

百人一首を全く知らない人でもヒントを使うことで10択の下の句から正解を選ぶことができますので気軽に挑戦してください。

最初はヒントを使い和歌の上下の意味を連想し答えを考え、慣れてきたらヒントを使わずに答えるように本書をお使いください。何度も繰り返し読むことで上の句と下の句の意味が自然と結びついて和歌全体を覚えることができるようになります。

歌の意味や歌人なども紹介していますので歌の魅力や深みをより知ることができるでしょう。

これから競技かるたに挑戦する人にもお勧めしたい一冊です。

小倉百人一首とは

本書で取り扱うかるたは、**小倉百人一首**です。

百人一首とは百人の和歌を一首ずつ集めたもので固有名詞ではありません。他にも新百人一首、武家百人一首、女百人一首、戦国百人一首などもあり、納められている和歌が違います。

小倉百人一首は、藤原家定の視点で編纂されたもので飛鳥時代から鎌倉時代までの和歌（古今集 24首、後撰集 7首、拾遺集 11首、後拾遺集 14首、金葉集 5首、詩花集 5首、千載集 14首、新古今集 14首、新勅撰集 4首、続後勅撰集 2首）から選ばれています。1904年（明治37年）、黒岩涙香（くろいわるいこう）氏が昔からある**かるた**のルールを統一したことから始まり、大正以降に全国に広がっていきました。今では日本かるた協会が国内の主要大会を主催する**百人一首かるた**として使われ、日本一を決める近江神宮（大津市）での名人戦、クイーン戦などが毎年開催されています。



本書の使い方


各問題のページには次のように小倉百人一首の上の句が出題されます。

<問題>

問題 01 - 秋の田の かりほの庵の とまをあらみ

読み
あきのたのかりほのいほのとまをあらみ

下の句は何でしょうか？



上の句の問題

上の句の読み

絵札には歌人、性別等のヒントがある

これらをヒントに下の句の答えを考えます。

問題には次のようにヒントが用意されています。
最初はヒントのリストから答えを探すとよいでしょう。

<ヒント>



正解はどれかな？

10個の下の句から
考えることができる

- ・ 人こそ知らね 乾く間もなし
- ・ 暁ばかり 憂きものはなし
- ・ みそぎぞ夏の しるしなりける
- ・ ただ有明の 月ぞ残れる
- ・ わが衣手は露にぬれつつ
- ・ 戀に朽ちなむ 名こそ惜しけれ
- ・ 山の奥にも 鹿ぞなくなる
- ・ 我が身一つの 秋にはあらねど
- ・ あはれ今年の 秋も去ぬめり
- ・ あまりてなどか 人の戀しき

慣れてきたら
ヒントを使わずに
答えるといいよ。

正解かどうかは答えのページで確認します。

< 答え >

答え 01

上の句	下の句
ちはやぶる かみよもきかず たつたがは	からくれなるに みづくくるとは

答えのページでは
句、読み、意味、
作者、決まり字等を
知ることができます。

[句]

秋の田のかりほの庵のとまをあらみ

?????? ? ? ? ? ? ?

[作者]

天智天皇

読み てんじてんのう

626～671年

何度も読み返すことで、上の句と下の句の繋がりを暗記しましょう。

答えのページにある上の句の赤文字は決まり字です。

<答え>

上の句

下の句

この場合、二字決まりとなります。この文字を覚えておくとかるた競技が有利になります。

この例で「**ちは**」と読まれたら、下の句は「**からくれなるに みづくくるとは**」となります。**競技かるた**では**決まり文字**から**下の句**を連想できるかどうか勝負の鍵となるのです。**競技かるた**に挑戦するのであれば巻末の資料を参考にして**決まり字**も学習しておきましょう。

■問題 上の句編

準備はよいでしょうか？

それでは出題される上の句から、下の句を答えいきましょう。

上の句編



START!!

問題 01 秋の田の かりほの庵の とまをあらみ

読み

あきのたのかりほのいほのとまをあらみ

下の句は何でしょうか？

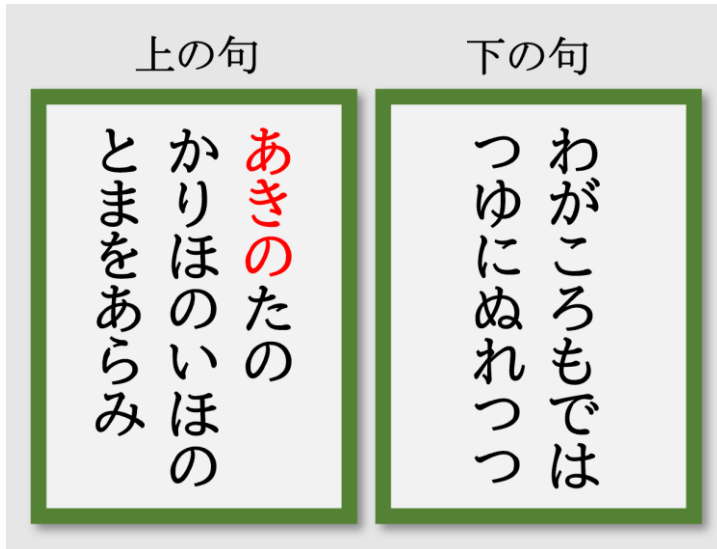


[絵札参照元] 国立国会図書館デジタルコレクション(以下省略)



正解はどれかな？

- ・ 人こそ知らね 乾く間もなし
- ・ 暁ばかり 憂きものはなし
- ・ みそぎぞ夏の しるしなりける
- ・ ただ有明の 月ぞ残れる
- ・ わが衣手は露にぬれつつ
- ・ 戀に朽ちなむ 名こそ惜しけれ
- ・ 山の奥にも 鹿ぞなくなる
- ・ 我が身一つの 秋にはあらねど
- ・ あはれ今年の 秋も去ぬめり
- ・ あまりてなどか 人の戀しき



[句]

秋の田のかりほの庵のとまをあらみ
わが衣手は露にぬれつつ

[作 者]

天智天皇 / 天皇

読み てんじてんのう

生没年：626～671年

[意 味]

秋の田の仮小屋にいと、屋根の葺いた苫の目が荒くその隙間から冷たい露がしたたり、私の衣は夜霧に濡れてしまう。

[備 考]

後撰集・秋中(302)

<省略…>

■資料-決まり字

暗記の参考資料としてご利用ください。

一字決まり

- ・ 問題 70 **さ**びしさに やどをたちいでて ながむれば
- ・ 問題 18 **す**みのえの きしによるなみ よるさへや
- ・ 問題 77 **せ**をはやみ いはにせかるる たきがはの
- ・ 問題 22 **ふ**くからに あきのくさきの しをるれば
- ・ 問題 81 **ほ**ととぎす なきつるかたを ながむれば
- ・ 問題 87 **む**らさめの つゆもまだひぬ まきのはに
- ・ 問題 57 **め**ぐりあひて みしやそれとも わかぬまに

二字決まり

- ・ 問題 43 **あひ**みての のちのところに くらぶれば
- ・ 問題 52 **あけ**ぬれば くるるものとは しりながら
- ・ 問題 03 **あし**びきの やまどりののを しだりをの
- ・ 問題 61 **いに**しへの ならのみやこの やへざくら
- ・ 問題 74 **うか**りける ひとをはつせの やまおろし
- ・ 問題 65 **うら**みわび ほさぬそでだに あるものを
- ・ 問題 05 **おく**やまに もみぢふみわけ なくしかの
- ・ 問題 26 **おぐ**らやま みねのもみぢば こゝろあらば
- ・ 問題 72 **おと**にきく たかしのはまの あだなみは
- ・ 問題 82 **おも**ひわび さてもいのちは あるものを
- ・ 問題 51 **かく**とだに えやはいぶきの さしもぐさ
- ・ 問題 06 **かさ**ゝぎの わたせるはしに おくしもの
- ・ 問題 91 **きり**ぎりす なくやしもよの さむしろに
- ・ 問題 41 **こひ**すてふ わがなはまだき たちにけり
- ・ 問題 97 **こぬ**ひとを まつほのうらの ゆふなぎに
- ・ 問題 24 **この**たびは ぬさもとりあへず たむけやま
- ・ 問題 10 **これ**やこの ゆくもかへるも わかれては
- ・ 問題 40 **しの**ぶれど いろにいでにけり わがこひは
- ・ 問題 37 **しら**つゆに かぜのふきしく あきののは
- ・ 問題 73 **たか**さごの をのへのさくら さきにけり
- ・ 問題 55 **たき**のおとは たえてひさしく なりぬれど
- ・ 問題 04 **たご**のうらに うちいでてみれば しろたへの
- ・ 問題 16 **たち**わかれ いなばのやまの みねにおふる
- ・ 問題 89 **たま**のをよ たえなばたえね ながらへば
- ・ 問題 34 **たれ**をかも するひとにせむ たかさごの
- ・ 問題 17 **ちは**やぶる かみよもきかず たつたがは

- ・ 問題 23 **つき**みれば ちゞにものこそ かなしけれ
- ・ 問題 13 **つく**ばねの みねよりおつる みなのがは
- ・ 問題 36 **なつ**のよは まだよひながら あけぬるを
- ・ 問題 33 **ひさ**かたの ひかりのどけき はるのひに
- ・ 問題 90 **みせ**ばやな をじまのあまの そでだにも
- ・ 問題 14 **みち**のくの しのぶもちずり たれゆゑに
- ・ 問題 94 **みよ**しのの やまのあきかぜ さよふけて
- ・ 問題 100 **もも**しきや ふるきのきばの しのぶにも
- ・ 問題 66 **もろ**ともに あはれとおもへ やまぎくら
- ・ 問題 47 **やへ**むぐら しげれるやどの さびしきに
- ・ 問題 59 **やす**らはで ねなましものを さよふけて
- ・ 問題 71 **ゆふ**されば かどたのいなば おとづれて
- ・ 問題 46 **ゆら**のとを わたるふなびと かぢをたえ
- ・ 問題 85 **よも**すがら ものおもふころは あげやらで
- ・ 問題 62 **よを**こめて とりのそらねは はかるとも
- ・ 問題 20 **わび**ぬれば いまはたおなじ なにはなる

<省略…>

■奥付

[著書]

クイズで学ぶ小倉百人一首かるた ～上の句編～

2023年8月発行

価格：860円

発行：だがしのん出版

[著者]

だがしのん

1967年生まれ。

携帯電話全盛期に docomo や au、SoftBank の携帯公式サイトでゲームサイト、クイズサイト、着メロ・着うたサイト、待ち受けサイトなどを企画、プロデュース、運営を行っていました。その経験をいかし、現在は YouTube CH. 『**頭脳サプリ**』の運営、脳トレ関連の電子書籍を中心に販売しています。

[イラスト素材]

イラスト AC (一部素材)

<https://www.ac-illustr.com/>

[絵札]

国立国会図書館デジタルコレクション:

菱川師宣 画『[小倉百人一首]』, 本問屋, 延宝 8 [1680].

<https://dl.ndl.go.jp/pid/2541162>

(参照 2023-08-07)

[お問い合わせ]

本書に関するお問い合わせは、『**頭脳サプリ☆マガジン**』にて受け付けています。

<https://dagashinon.wp.xdomain.jp/>



なお、本書で取り扱う和歌の名称、読み、データなどは参考文献により異なる場合があります。

本書を無断で複写・複製することは著作権法上での例外を除き著作者への権利侵害となります。